

ひと声かけて支え合う

NPO版
災害時BCP
ハンドブック

発行：京都府

企画編集：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

デザイン・編集協力：特定非営利活動法人京都丹波丹後ネットワーク

CONTENTS



目次

- 1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 02
- 2. 災害時連携 NPO等ネットワーク 紹介・・・・・・・・・・ 05
- 3. NPO版 BCP作成のチェックポイント・・・・・・・・・・ 07
- 4. マイ NPO版 BCP連携図の作成について・・・・・・・・ 08
- 5. マイ NPO版 BCP連携図フォーム・・・・・・・・・・ 09
- 6. 京都府・市内防災(ハザード) マップ参照情報・・・・・・・・ 11
- 7. 知っ得情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 8. 災害時関連機関連絡先・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

はじめに

福知山市豪雨災害の記憶から端を発して！

「平成26年8月16日から17日にかけて降り続いた観測史上最大の雨。これまでに経験したことのない規模の内水被害の発生と、災害対応から被災者支援等の記録」から。

【8月16日から17日かけて近畿地方に停滞した前線に湿った空気が流れ込み、近畿地方や北陸などで局地的な大雨に見舞われた。特に、本市では16～17日の24時間雨量が300mmを超え、平年の8月の1か月雨量の約2.5倍に達した。この大雨により、市中心部を中心に広い範囲で冠水し、4500棟(平成27年3月20日時点)が浸水する被害となった。

また、由良川では、一時的にはん濫危険水位を超過、内水氾濫や土砂災害も多く発生し、市の全域約8万人に避難勧告を発表、陸上自衛隊も救援に出動した。さらに、この大雨によって、JR福知山線と山陰線が寸断されるなど、社会的影響度も非常に大きくなった。

(引用：「平成26年8月豪雨 災害の記録 発行：福知山市」)



その当時、私にとっても馴染みの地域である福知山市内の被害状況が、メディアやSNSを通じて伝えられ、見たこともない情景に唖然としたことを記憶しています。日ごろ親交のある中間支援組織＝特定非営利活動法人京都丹波・丹後ネットワークの森田氏が発信するSNSからもその尋常ならざる被害状況が伝えられていました。

日頃から関係性があるとはいえ、大変な状況にあることは容易に想像がつくものであり、「どう、大丈夫、どんな状況？」と容易に声をかけることができずに、当事者からの正確なニーズ発信があるまで状況を見守っていようという判断をしていました。きっといろいろなところからも心配・安否確認の連絡があり、その対応だけでも大変ではないかという思いもあり、すぐに声かけをすることもできず、その後、時系列に災害復興していく状況や困りごとを聞くチャンスはすぐにはありませんでした。

同時期に広島市で起こった豪雨による土砂災害がメディアで多数取り上げられている状況と比べ、福知山市の被害状況の露出は極端に少なかったようにも思います。聞くところによると「メディアの報道量は死者の数に比例する」ともいわれており、実際のところ広島市土砂災害での死者数76人に対して、福知山市豪雨災害の死者数は1人でした。平成27年9月9日から11日にかけて発生した関東・東北豪雨災害でも被害規模から考えればその報道は極端に少ないといわれており、死者数8人であったことから考えれば、「メディアの報道量は死者の数に比例する」というのもあながちウソとは言い切れず、むしろ信憑性が高く感じられます。

寄付等、広く社会からの支援の原動力・触媒となるメディアの存在も災害復興という視点からは手厚く発信されていない現状があることもひとつの事実として、捉えておく必要があるように思えます。

後日、相当落ち着いた段階で、連絡を取り福知山での被害状況やその当時福知山市内で NPO が置かれた状況の共有をいただく機会を得ましたが、そこで森田氏から聞いた言葉は、意外なものでした。それは、「誰からも連絡をもらえなかった、NPO はセフティーネットから漏れている」というのです。かなり残念な思いをしたと同時に言われてみれば「そうか」とうなずけることでもありました。

ここでいう NPO (民間非営利組織) の状況とは、あくまでも福知山市域のある場面においてのことであり、他地域での NPO のあり様やその状況は地域によっても違うのだといえます。すでに連携体制が構築されているところから連携そのものが必要ないところまでいろいろあり、地域特性等を考慮せず NPO というだけでひとくくりに語ることは極めてナンセンスであるということ京都府委託事業「災害時連携 NPO 等ネットワーク (以下、災害 NPO ネット)」を設立する過程で学び考えさせられることとなりました。

災害 NPO ネットを構築するうえで問題を感じたのは、災害等有事の際に「大丈夫ですか」のひと声があることを望んでいる団体があるにも関わらず誰からも声がかからないこと、その声かけがその団体及び団体から支援 (サービスの提供) を受けている受益者等の持続的な生活及び活動の可能性に寄り添うきっかけとなる重要な初動であるはずなのに、そういう環境や設定がないこと、つまり平常時においてそのようなネットワークが希薄であったということです。

本ハンドブックは、京都府が推進する「ひと声かけて支え合うー災害時連携 NPO 等ネットワークを構築する一環として、「NPO 版 BCP」を意識したハンドブックとして作成しています。

NPO 版 BCP の作成と平常時からの備え

BCP とは、「Business Continuity Plan の略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。危機発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても可及的速やかに復旧・再開できるようにあらかじめ策定しておく行動計画」のことです。

社会課題と真摯に向き合い、公益的な活動を行う NPO 等が有事に持続的であること、有事に持続的であるために平時のネットワークや備えがいかに重要であるかということをお伝えすることができ、それぞれの地域でそれぞれの団体の実情に合った「マイ NPO 版 BCP」が構築されるきっかけになればと願い、以下の内容に整理して掲載しています。

- ① 災害時連携 NPO 等ネットワーク紹介
- ② NPO 版 BCP 作成のチェックポイント
- ③ マイ NPO 版 BCP 関連図の作成
- ④ 京都府・市内防災 (ハザード) マップ参照情報
- ⑤ 知っ得情報
- ⑥ 災害時関連機関連絡先

いざという時のための平常時からの備えとして、ご活用いただければ幸いです。

2016年3月
特定非営利活動法人きょうと NPO センター
常務理事・統括責任者 平尾剛之

ひと声かけて支え合う

“災害時連携 NPO等ネットワーク” はじまる(2016.4~)

1. ネットワークの目的

災害時連携NPO等ネットワーク(以下、「災害NPOネット」という。)は、自然災害による被害が京都府内で発生した場合、府内で社会課題の解決や公益性を担って活躍しているNPO(NPO法人、自治組織、経済団体等)が有する専門性や豊富な経験を活かし、地域の自治体との連携などにより、直ちに「特別なニーズをもった被災者への支援及びNPO等の相互支援」を行うことができるよう、普段から関係団体がつながりを持ち、支援ノウハウの習得や人材育成、情報交換等を行うことを目的としています。趣旨に賛同する団体は、この災害NPOネットにおいて加盟登録団体として登録の上、活動を行います。

災害NPOネットは、①従来には十分対応できなかった、特別な事情を抱える被災者からの支援ニーズ(スペシャルニーズ)の対応を、また、②被災地域にある加盟登録団体に「ひと声かけて」安否確認を行い、被災状況を聞き取りながら支え合うことを目指します。

2. 災害NPOネットの6つの機能

- ① 加盟登録(連携団体を募集)
- ② 加盟登録団体の安否確認(災害時)
- ③ 特別なニーズへの支援と支援時期(災害時)
- ④ 災害時のオペレーター及び地域コーディネーターの人材育成
- ⑤ 支援基金の創設とファンドレイジング(資金調達)
- ⑥ 専用ホームページの構築等(支援ニーズ・資源マッチングシステム)

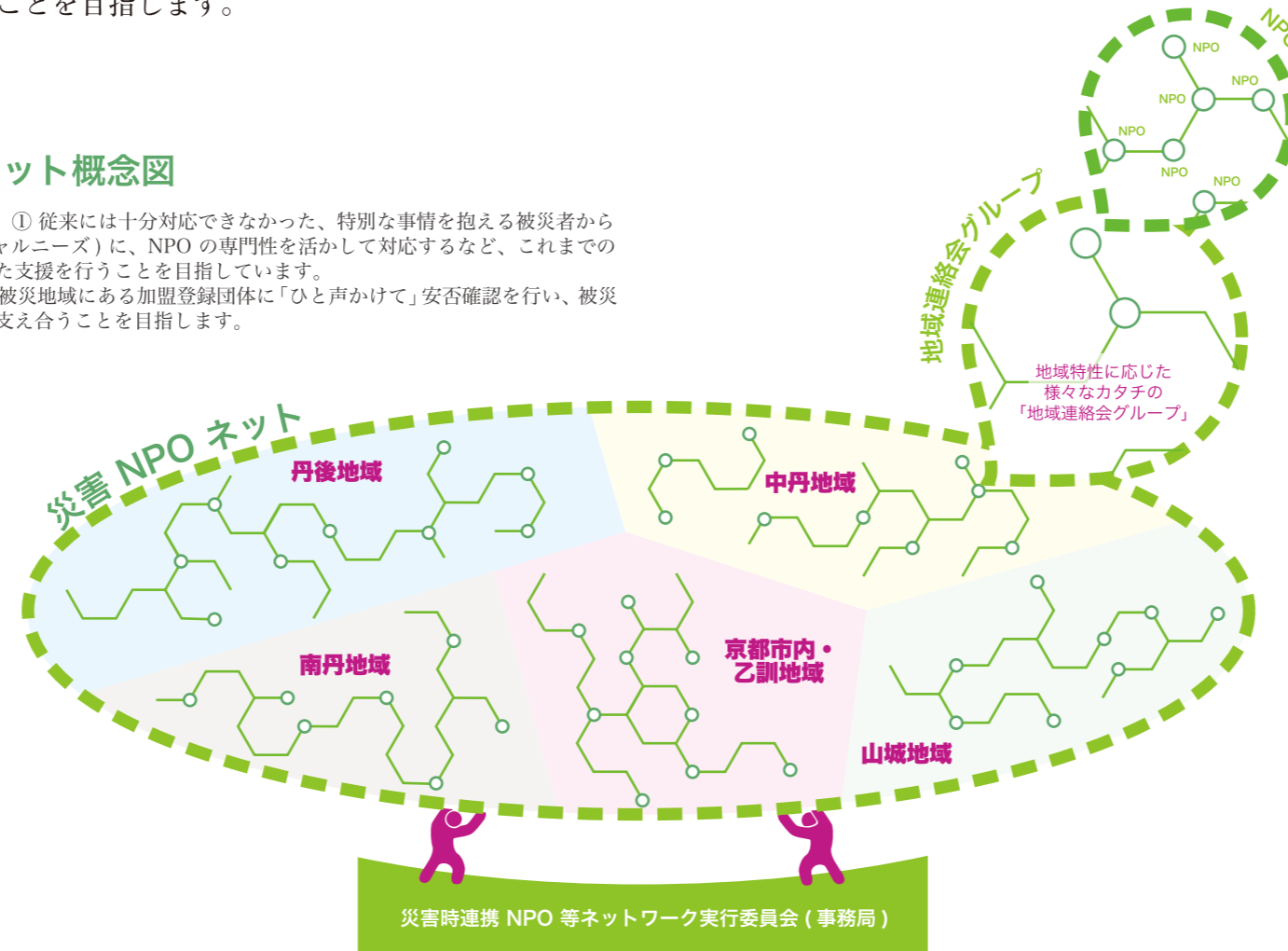
3. 加盟登録対象団体

災害NPOネットは、社会課題の解決や公益活動を担っている団体により設立されます。

- ・NPO法人、ボランティア団体、市民活動団体等自治会や町内会等の地縁団体等
- ・商工会や商工会議所、中小企業家同友会、商店街組合、業界団体等の経済団体等
- ・市町村、災害ボランティアセンター、社会福祉協議会、社会福祉法人等

災害NPOネット概念図

災害NPOネットは、①従来には十分対応できなかった、特別な事情を抱える被災者からの支援ニーズ(スペシャルニーズ)に、NPOの専門性を活かして対応するなど、これまでの仕組みでは困難であった支援を行うことを目指しています。
また災害時には、②被災地域にある加盟登録団体に「ひと声かけて」安否確認を行い、被災状況を聞き取りながら支え合うことを目指します。



災害NPOネット実行委員会(事務局)の役割

- | | | | | | | | | | | | |
|------|---|--|---|----------|---|--------|---|-----|---|----------|---|
| 声かけ | + | 支援情報提供・発信 | + | 支援活動資金活用 | + | 団体情報管理 | + | 広報 | + | 支援活動資金活用 | |
| | + | ホームページ | + | メーリングリスト | + | SNS | + | 研修会 | + | 災害訓練 | + |
| 人材育成 | + | 本部オペレーター・地域コーディネーターのサポート を行います。 | | | | | | | | | |

※その他、詳しくは、
災害NPOネット「実施要項」をご確認ください。
<http://www.hitokoekakete.jp>



NPO版 BCP作成のチェックポイント

平常時に災害時を想定して、緊急連絡体制や危険箇所・リスクを把握し安全の確保に努めておくことは最も基本的な作業です。災害時において、みなさまの団体から支援・サービスなどの提供を受けている利用者(潜在的受益者)に対しても可能な限り持続的な支援状況を担保することは最低限の義務として積極的に取り組む必要があると考えられます。

本「NPO版 BCPチェックポイント」をご活用いただき、現状把握から課題の抽出、改善の検討とその取組みを推進していただく一助としてお役に立ててください。

以下、設問に対して、「はい」or「いいえ」のチェック☑を入れていただき、備考欄には、その具体的な状況をご記入ください。

番号	設問	はい	いいえ	備考欄
①	代表者(管理者)は、明確な危機意識をもって災害時に対応できるよう管理体制にリーダーシップを発揮している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②	災害時を想定した担当者・担当部署がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③	災害時対応マニュアルを整備し、対応システムを構築している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④	内部・外部を問わず研修に参加する機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤	団体内において、定期的に災害時に対する検討の機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥	災害時に危険となる箇所やリスク状況を具体的にリストアップし、把握・共有に努めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦	団体内で、役員・職員・関係スタッフ等の緊急連絡網を作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧	協力・支援団体や各種関係機関との連絡網を作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨	災害時に最低限必要と考えられる備品を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑩	団体として、重要な書類やデータなどを把握し、管理・保管体制を整えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
メモ				

マイ NPO版 BCP連携図の作成について

「マイ NPO版 BCP連携図」作成の際には、それぞれの団体の状況に応じて、以下の点にご留意いただき、災害時に有効に活用できるよう適切に作成ください。

- 「当該団体」**
みなさまの団体のことです。役員・管理職・職員・関係スタッフなど、緊急連絡網を作成のうえ、団体で想定している災害時の役割をご記入ください。
- ① 「災害NPOネット」**
ひと声かけて支え合うー災害時連携NPOネットワークの略称です。ぜひ、加盟登録をいただき、災害時連携先のひとつとしてご活用ください。
- ② 「当該団体利用者・団体」**
みなさまの団体から支援やサービスの提供を受けている利用者・利用団体を想定しています。災害時の安否や状況の確認を取る必要がある個人や団体の名前・連絡先をご記入ください。
- ③ 「当該団体支援者・団体」**
みなさまの団体が災害時に支援や協力の要請、相談などのできる団体を想定しています。それぞれの地域で活躍されている中間支援組織や支援団体との平常時からの関係性を構築・確認いただきご記入ください。
- ④ 「所轄庁・行政機関・警察・消防・医療機関」**
公共性の高い機関として、みなさまの団体の状況報告や連携、支援要請を行う機関を想定しています。状況に応じてご記入ください。
- ⑤ 「保険会社、ITメンテナンス、他」**
災害を想定して保険適用の契約をしている保険会社や IT機器の故障、サーバーダウン、バックアップ、データ保全・復旧作業などの要請を行うリスク回避のための専門機関を想定しています。持続可能な運営を行うために不可欠になる機関として、平常時における契約、契約内容の確認を行ってください。
- ⑥ 「社会福祉協議会、災害ボラセン」**
災害時、みなさまの団体にとって身近な心強い味方です。それぞれの地域によって、社会福祉協議会・災害ボランティアセンターの機能や役割が異なる場合がありますので、平常時にご確認のうえ適切な連携体制を構築ください。
- ⑦ 「その他」**
みなさまの団体の状況に応じて、その他必要と想定される個人・団体名の連絡先などをご記入ください。

※本「マイNPO版 BCP連携図」の作成で、記入欄が足りない場合や連携先がもっと必要な場合は、何冊かに分けて作成いただくか、本図を参考に独自連携図を作成ください。

マイNPO版BCP連携図



知っ得情報

京都府内防災（ハザード）マップ参照情報

あなたが活動している地域でどのような災害が起こり得るのか、ご確認ください。

◎京都府危機管理・防災情報ポータルサイト

(<http://www.pref.kyoto.jp/kikiweb/data/>)

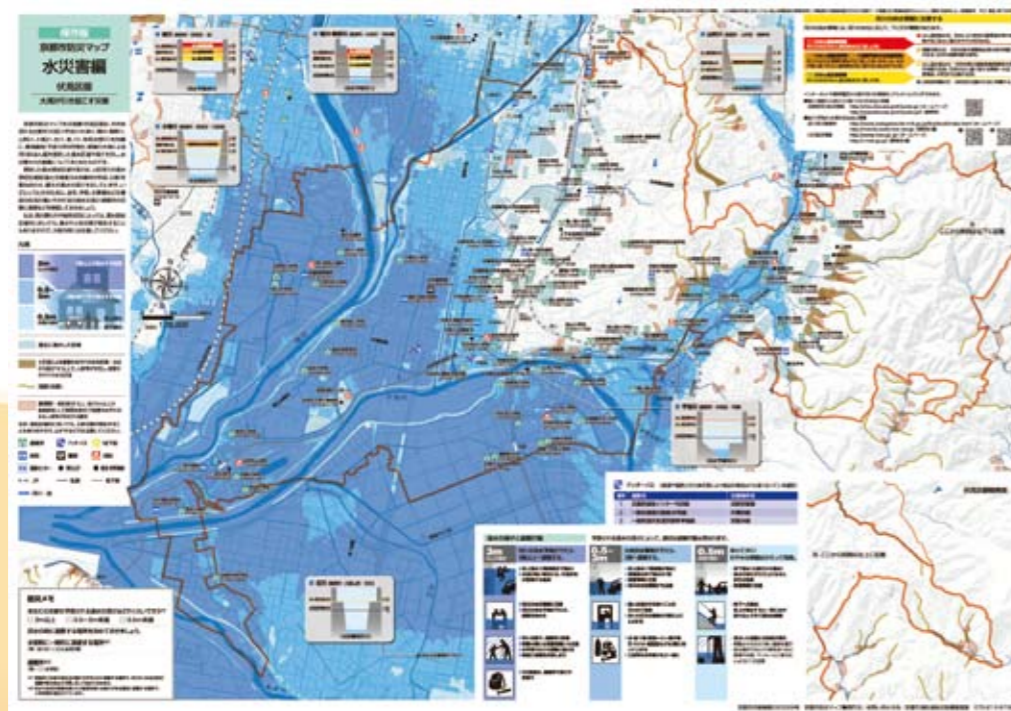
京都府内の、災害に備えて知っておきたい知識や京都府が行っている災害対策の動き、市町村ごとの各種ハザードマップなどに関する情報が掲載されています。市町村によって掲載されているハザードマップが異なりますのでご確認ください。



◎京都市防災マップ（震災編及び水災編）

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000086399.html>)

京都市が作った各行政区、全24枚の防災マップを見ることができます。



助成・融資情報

◎助成金情報についての相談窓口

災害時に限らず、助成金情報に関する問い合わせをすることができます。

- ・京都市市民活動総合センター(管理・運営 特定非営利活動法人きょうとNPOセンター)
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館京都2階
TEL: 075-354-8721 FAX: 075-354-8723
URL: <http://shimin.hitomachi-kyoto.jp/>

◎融資情報

BCPのための設備整備資金に使うことのできる融資制度です。詳しくは各窓口へお問い合わせください。

- ・京都地域創造基金「きょうとNPO支援連携融資制度」
(<https://www.plus-social.jp/financing.html>)
- ・中小企業庁「BCP融資」
(http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/h22/gb106.html)

京都府内の各金融機関につきましては、災害発生以降、災害に対応した融資制度が設けられることがあります。状況に応じてその都度確認が必要です。

寄付募集支援

寄付の呼びかけを支援するものに「クラウドファンディング」というものがあります。「クラウドファンディング」とは、不特定多数の人にインターネット等を通じて行われる寄付の呼びかけや財源の提供や協力などを行うことです。

- ・JapanGiving
(<http://japangiving.jp/>)
などの法人があります。

防災・災害時に役立つアプリ、メール配信システム



YAHOO! 防災速報

地域を設定するだけであらゆる災害時に通知してくれます。普段はゲリラ豪雨対策にも使えます。



YAHOO! 天気・災害

詳細な天気予報に加え、雨雲の動き、災害情報まで見ることができます。



goo 防災アプリ

防災・災害に関する情報、安否情報の登録・検索、防災マップで避難所の検索などが利用可能な総合防災アプリです。



radiko.jp

スマートフォンでラジオが聴けるアプリです。

京都府
「防災・防犯情報メール配信システム」

京都府が発信する気象情報や防災防犯情報、各市町村が発信する市町村防災関係情報をメールで配信しています。

災害時関連機関連絡先

行政

京都市域・乙訓地域

- 府庁 NPO パートナリシップセンター（府民生活部 府民力推進課）
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
TEL：075-414-4212 FAX：075-414-4230
URL：http://www.pref.kyoto.jp/npo/psc/

丹後地域

- 丹後 NPO パートナリシップセンター（丹後広域振興局 企画振興室）
〒627-0011 京丹後市峰山町丹波 855
TEL：0772-62-4300 FAX：0772-62-5894
URL：http://www.pref.kyoto.jp/tango/

中丹地域

- 中丹パートナーシップセンター（中丹広域振興局 企画振興室）
〒625-0036 舞鶴市字浜 2020 番地
TEL：0773-62-2031 FAX：0773-63-8495
URL：http://www.pref.kyoto.jp/chutan/

南丹地域

- 南丹パートナーシップセンター（南丹広域振興局 企画振興室）
〒621-0851 亀岡市荒塚町 1-4-1
TEL：0771-24-8430 FAX：0771-24-4683
URL：http://www.pref.kyoto.jp/nantan/

山城地域

- 山城 NPO パートナリシップセンター（山城広域振興局 企画振興室）
〒611-0021 宇治市宇治若森 7-6
TEL&FAX：0774-21-2049 FAX：0774-22-8865
URL：http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/

■京都府災害ボランティアセンター事務局

- 〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 ハートピア京都 5 階
京都府社会福祉協議会内
TEL：075-254-8815 FAX：075-252-6310
URL：http://fu-saigai-v.jp/

■京都府災害対策本部 府民生活部防災・原子力安全課

- 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
TEL：075-414-4475 FAX：075-414-4477

大学ボランティアセンター

■龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター【深草】

- 〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町 67
TEL：075-645-2047 FAX：075-645-2064
URL：http://www.ryukoku.ac.jp/npo/

■立命館大学サービスラーニングセンター【衣笠】

- 〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1 学而館 1 階
TEL：075-465-1952 FAX：075-465-1982
URL：http://www.ritsumeai.ac.jp/slc/

■京都文教ボランティアセンター

- 〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足 80
TEL：0774-25-2497（学生課） FAX：0774-25-2498
URL：http://www.cyber.kbu.ac.jp/kbu/volunteer

■佛教大学社会連携センター学生ボランティア室

- 〒603-8301 京都府京都市北区紫野北花ノ坊町 96
TEL：075-491-2141 FAX：075-493-9088
URL：http://www.bukkyo-u.ac.jp/facilities/cooperation

■京都産業大学ボランティアセンター

- 〒603-8555 京都府京都市北区上賀茂本山 ボランティア活動室 3 号館 1 階
TEL：075-705-1530 FAX：075-705-2946
URL：http://www.kyoto-su.ac.jp/outline/volunteer/index.html

■同志社大学ボランティア支援室（今出川校地）

- 〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103 室町キャンパス 寒梅館 1 階
TEL：075-251-3236 FAX：0774-251-3099
URL：http://volunteer.doshisha.ac.jp

■同志社大学ボランティア支援室（京田辺校地）

- 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3 京田辺キャンパス 多目的ホール 1 階
TEL：0774-65-6777 FAX：0774-65-7421
URL：http://volunteer.doshisha.ac.jp